

日本博物館協会

令和5年度 第2回研究協議会 開催のご案内

## 「これからの『対話と連携の博物館』 1 博物館と図書館 ML(A)連携の可能性」

(オンライン開催)

改正博物館法においては、今後の博物館運営において多様な社会セクターとの連携が重要と位置付けられています。一方で現実には、博物館に最も身近な社会教育機関である図書館や公文書館との連携はなかなか進んでいません。

今回の研究協議会では、改めて博物館の連携対象として図書館を取り上げ、地域の文化資源の保存と活用を担う共通性を有する双方の連携と協働のあり方を考えます。

博物館の職員をはじめ、広く関係者やご興味ある皆様のご参加をお待ちしております。

\*MLA 連携を基本に今後のあり方を考えるために活動する「次世代型文化施設フォーラム」に企画への協力を依頼し、地域文化資源の活用を基本として、博物館や図書館を中心とする社会教育・文化施設の連携と今後の可能性を議論するものです。

\*「次世代型文化施設フォーラム」Web サイト：<https://www.libraryfair.jp/poster/2023/178>

- ・日 時：令和6年3月6日（水）13：30～17：30
- ・主 催：日本博物館協会 / 企画協力：次世代型文化施設フォーラム
- ・開催形式：オンライン（Zoom）による開催、後日アーカイブ配信あり
- ・対 象：日博協会員、博物館・図書館関係者 他
- ・参加費：無料（事前申込み制）

※下記 URL の参加申込フォームから登録してください。

<https://forms.gle/6eX1YSciadQC2Bxu5>

### 【プログラム】

- 13：30～13：40 開催挨拶・趣旨説明(日博協)
- 13：40～13：50 次世代型文化施設フォーラムについて（フォーラム）
- 13：50～14：40 基調報告：森いづみ（県立長野図書館長）

「信州知の連携フォーラムの取り組みから」

県立の図書館、博物館、美術館、大学の連携、デジタルアーカイブの構築  
県内各地の図書館、博物館、公民館との連携

(休憩10分)

- 事例報告：3例
- 14：50～15：20 1 呉屋美奈子（恩納村文化情報センター係長）  
図書館が博物館に期待すること、地域資料をめぐって
- 15：20～15：50 2 矢ヶ崎結花（太田市図書館・美術館学芸員）  
複合施設による機能連携、学芸員の立場から
- 15：50～16：20 3 楯石もも子（江戸東京博物館司書）  
博物館内のMLA連携 ミュージアム・ライブラリアンの立場から

(休憩10分)

●16：30～17：25 総合討論

- ・基調報告・事例報告発表者
- ・指定コメンテーター：佐久間大輔（大阪市立自然史博物館学芸課長）  
福島 幸宏（慶應義塾大学文学部准教授）  
持田 誠（浦幌町立博物館学芸員）
- ・モデレーター：佐々木秀彦（アーツカウンシル東京企画部企画課長）

●17：25 閉会挨拶

【お問合せ先】

日本博物館協会事務局

TEL；03-5832-9108

E-mail：webmaster@j-muse.or.jp